

飲み忘れ防ぐカレンダー

空の青さが夏らしく輝きを増す頃ですが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？

最近、国の医療費抑制の流れもあり、薬剤師は残薬問題を解決すべく取り組んでいます。そもそも、残薬（飲み残しや不要になった薬）はどうし

てできてしまうのでしょうか？

高血圧や糖尿病などさまざまな病気があると、薬の種類や量が多くな

り、飲み忘れたり、飲み過ぎたりする場

合があります。

薬を受け取ったら薬の袋や説明書をしっかりと見て「1日何回飲むのか？」「何錠飲むのか？」「いつ飲むのか？」などを必ず確認しましょう。

当たり前だと思うかもしれませんが、確認すること

で勘違いや思い込み

による間違いを防げるか

もしれません。

今日飲んだかどうか分からなくなる場合がある方は「お薬カレンダー（服薬予定表）」を利用しましょう。市販されている物もあり、薬局や雑貨店で購入できます。

ご相談ください。医師に確認した上で、飲むタイミングごとにひとまとめにすること（分包）ができる場合があります。

また、全部飲み切るまでに症状が治り、余ることもあります。薬局で相談いただくと、次回の受診時に生かすことができるかもしれません。外出できない雨の日にお薬の片付けがはかどりますように。

（薬剤師 西 美香）

お薬カレンダー

		お薬カレンダー			
		朝	昼	夕	眠前
月		☺	☺	☺	☺
火		☺	☺	☺	☺
水	☺	☺	☺	☺	☺
木	☺	☺	☺	☺	☺
金	☺	☺	☺	☺	☺
土	☺	☺	☺	☺	☺
日	☺	☺	☺	☺	☺

錠数が少ない方はご自宅にあるカレンダーにお薬を貼り付けてもよいかもしれません。きちんと飲んでいただいたのに錠数がズレてきたり、種類が多くて間違えてしまうことがある方は薬局で薬剤師に

分包すると飲み忘れが減り、きちんと飲めるようになりしっかりと治療することができま

す。

また、全部飲み切るまでに症状が治り、余ることもあります。薬局で相談いただくと、次回の受診時に生かすことができるかもしれません。外出できない雨の日にお薬の片付けがはかどりますように。

（薬剤師 西 美香）



[103]

松阪地区薬剤師会